

様式第1号（第8条関係）

令和6年 月 日

日立市公共交通会議 会長 殿

申請者 住所

日立市諏訪町4-11-1

団体等の名称

諏訪学区コミュニティ推進委員会

氏名又は代表者氏名

会長 持田 幸雄



令和6年度日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付申請書

令和6年度において、下記のとおり助成していただきたく、日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付要項第8条の規定により申請します。

記

1 助成事業の名称 日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成事業

2 助成金の名称 日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金

3 助成金の額 金100,000円

4 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

様式第2号（第8条関係）

事業計画書

助成事業計画	事業名称	諏訪学区路線バス利用促進活動事業				
	実施場所	諏訪学区内全域				
	事業目的	路線バスの利用促進活動を図り、諏訪学区住民及び来訪者の移動手段を確保する。				
	事業内容	学区内を運行する路線の時刻表掲載の広報紙を作成し、住民に配布することで利用促進を図るとともに、乗車促進図案の名入れエコバックを学区主催イベント時に配布して、今後の公共交通の乗車促進に寄与する。				
	期待される効果	路線バス利用者の利便性向上及び維持並びに新規利用者の確保。				
	事業期間	令和6年7月1日～令和7年3月31日				
	総事業費	106,000円				
	特記事項	対象世帯数 2,500世帯				
助成事業等に要する経費の内訳						
区分	内容	単位	数量	単価	金額	適用
	広報誌印刷費 名入れエコバック	枚 個	2,500 300	6.4 300	16,000 90,000	

備考 この様式は、必要に応じ適宜修正し、又は別に明細書を添えて説明することができる。

様式第3号（第8条関係）

収支予算書

1 収入 (単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
路線バス利用促進活動助成金	100,000	
コミュニティ推進会助成金	6,000	
合計	106,000	

2 支出 (単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
広報誌印刷費	16,000	@6.4- x 2500枚
図案入りエコバック購入費	90,000	@300.- x 300個
合計	106,000	

備考 (1) この収支予算書は、助成事業に係る予算に限り作成すること。

様式第1号（第8条関係）

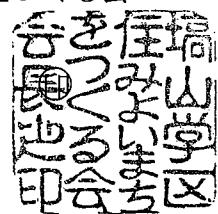
令和6年5月31日

日立市公共交通会議 会長 殿

申請者 住所 日立市金沢町2-11-5

団体等の名称 塙山学区住みよいまちをつくる会

氏名又は代表者氏名 会長 西村 ミチ江



令和6年度日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付申請書

令和6年度において、下記のとおり助成していただきたく、日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付要項第8条の規定により申請します。

記

1 助成事業の名称 日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成事業

2 助成金の名称 日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金

3 助成金の額 金100,000円

4 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

様式第2号（第8条関係）

事業計画書

助成事業計画	事業名称	塙山コミュニティ交通委員会路線バス利用促進活動事業				
	実施場所	塙山学区				
	事業目的	路線バスの利用促進活動を図り、塙山学区住民及び来訪者の移動手段を確保する。				
	事業内容	学区内住民に啓発チラシ（時刻表・ポケット時刻表 QRコード付き）を配付、会の情報紙「塙山かわら版」でも路線バスのPRに努め、乗車人員を増やす。大看板を掲示してPRに努める。また、塙山学区の子どもたち対象の事業で、路線バスを利用する機会を設ける。 高齢者の利便性を図るため「いばっپ」の新規カード購入を支援する。				
	期待される効果	塙山団地と常陸多賀駅間を運行する路線バスを将来にわたって確保するために、PRを通して多くの住民のバス利用が期待できる。 また、子どもたちに公共交通利用の意識付けをする機会になる。				
	事業期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日				
	総事業費	105,000円				
	特記事項	対象世帯数 2,850世帯 (印刷は2,900部)				
助成事業等に要する経費の内訳						
区分	内 容	単位	数量	単価	金 額	適 用
	時刻表印刷費	枚	2,900	19.5	円 56,550 (税別)	円 A3版片面カラー刷り (データ提供) 二つ折り加工
	ポケット時刻表	枚	2,900	12.5	円 36,250 (税別)	円 ポケットサイズ 両面カラー刷り (データ提供)
	消費税				円 9,280	
	参考図書購入	冊	1	1,200	円 1,200	時刻表
	印刷代			10	円 1,720	コピー代

備考 この様式は、必要に応じ適宜修正し、又は別に明細書を添えて説明することができる。

様式第3号（第8条関係）

収支予書

1 収入

(単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
地域公共交通利用促進活動助成金	100,000	
堺山学区住みよいまちをつくる会予算	5,000	
合計	105,000	

2 支出

(単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
時刻表印刷費	56,550	@19.5円×2,900部
ポケット時刻表	36,250	@12.5円×2,900部
消費税	9,280	
参考図書	1,200	時刻表 1冊
印刷代	1,720	コピ一代
合計	105,000	

備考 (1) この収支予算書は、助成事業に係る予算に限り作成すること。

令和6年 月 日

日立市公共交通会議 会長 殿

申請者 住所 日立市中丸町1-17-13

団体等の名称 中丸路線バス維持検討委員会

氏名又は代表者氏名 委員長 福士 邦彦



令和6年度日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付申請書

令和6年度において、下記のとおり助成していただきたく、日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付要項第8条の規定により申請します。

記

1 助成事業の名称 中丸地区路線バス利用促進活動事業

2 助成金の名称 中丸地区路線バス利用促進活動助成金

3 助成金の額 金100,000円

4 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

様式第2号（第8条関係）

事業計画書

助成事業計画	事業名称	中丸地区路線バス利用促進活動事業
	実施場所	中丸団地
	事業目的	路線バスの利用促進活動を図り、中丸地区住民及び来訪者の移動手段を確保する。
	事業内容	中丸団地や大久保交流センター付近にのぼり旗や横断幕を設置するとともに、住民に啓発チラシを配布し、路線バスの活性化を図る。
	期待される効果	団地内を運行する路線バスを将来にわたって維持するため、住民のバス利用促進が期待できる。
	事業期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
	総事業費	100,000円
	特記事項	対象世帯数635世帯

助成事業等に要する経費の内訳

区分	内容	単位	数量	単価	金額	適用
	のぼり旗	枚	20	円 1,000	円 20,000	設置用品含む
	啓発チラシ印刷費	式	1	8,000	8,000	
	時刻表印刷・作成費	式	1	20,000	20,000	ポケット時刻表代 (プリンターアイク、用紙、ラ ミネートフィルム他 手作り)
	横断幕	枚	1	16,200	16,200	
	事務用品等	式	1	35,800	35,800	

備考 この様式は、必要に応じ適宜修正し、又は別に明細書を添えて説明することができる。

様式第3号（第8条関係）

収支予算書

1 収入

(単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
中丸地区路線バス利用促進活動助成金	100,000	
合計	100,000	

2 支出

(単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
のぼり旗購入費	20,000	
啓発チラシ印刷費	8,000	
時刻表印刷・作成費	20,000	
横断幕	16,200	
事務用品	35,800	
合計	100,000	

備考 (1) この収支予算書は、助成事業に係る予算に限り作成すること。

様式第1号（第8条関係）

令和6年 月 日

日立市公共交通会議 会長 殿

申請者 住所 日立市西成沢町4-38-39

団体等の名称 青葉台・堂平路線バス検討会議

氏名又は代表者氏名 会長 松川 達弥 

令和6年度日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付申請書

令和6年度において、下記のとおり助成していただきたく、日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付要項第8条の規定により申請します。

記

1 助成事業の名称 日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成事業

2 助成金の名称 日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金

3 助成金の額 金100,000円

4 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

様式第2号（第8条関係）

事業計画書

助成事業計画	事業名称	日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成事業
	実施場所	青葉台・堂平団地
	事業目的	路線バスの利用促進活動を図り、青葉台・堂平団地住民及び来訪者の移動手段を確保する。
	事業内容	青葉台・堂平団地付近へののぼり旗の設置や、住民参加型の利用促進イベントの実施、住民向け啓発チラシ及び団地に特化したバス時刻表を配付することにより、路線バスの活性化を図る。
	期待される効果	団地内を運行する路線バスを将来にわたって確保するため、住民のバス利用促進が期待できる。
	事業期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
	総事業費	100,000円
	特記事項	対象世帯数 961世帯

助成事業等に要する経費の内訳

区分	内容	単位	数量	単価	金額	適用
	啓発・時刻表チラシ印刷費(A3)	枚	1,100	14.7	16,130	両面カラー 二つ折りコート紙
	ポケット時刻表作成	枚	1,100	6.0	6,620	A5 コート紙
	横断幕	枚	6	6,430	38,600	6枚
	イベント費	式	1		30,000	地域交流会
	事務費	式	1		8,650	

備考 この様式は、必要に応じ適宜修正し、又は別に明細書を添えて説明することができる。

様式第3号（第8条関係）

収支予算書

1 収入

(単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
市助成金	100,000	日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付要項
合計	100,000	

2 支出

(単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
啓発・時刻表印刷費(A3版)	16,130	1,100枚
ポケット時刻表作成用紙	6,620	1,100枚
横断幕作成費	38,600	6枚
イベント運営費	30,000	
事務用品購入費	8,650	
合計	100,000	

備考 (1) この収支予算書は、助成事業に係る予算に限り作成すること。

様式第1号（第8条関係）

令和6年 月 日

日立市公共交通会議 会長 殿

申請者 住所又は所在地 日立市西成沢町1丁目18-8

団体等の名称 山の神団地路線バス利便性向上委員会

氏名又は代表者氏名 委員長 佐藤 純



令和6年度日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付申請書

令和6年度において、下記のとおり助成していただきたく、日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付要項第8条の規定により申請します。

記

1 助成事業の名称 山の神団地路線バス利用促進活動事業

2 助成金の名称 山の神団地路線バス利用促進活動費用助成

3 助成金の額 金75,000円

4 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

様式第2号（第8条関係）

事業計画書

助成事業計画	事業名称	山の神団地路線バス利用促進活動事業
	実施場所	山の神団地
	事業目的	路線バスの利用促進活動を図り、山の神団地住民及び来訪者の移動手段を確保する。
	事業内容	山の神団地にのぼり旗等を設置すると共に、住民への啓蒙チラシを配布し、路線バス利用への意識醸成を図る。また、停留所周りの環境整備を行うことで、利便性・安全性の向上を図り、イベントを実施し利用促進に繋げていく。
	期待される効果	団地内を運行する路線バスを将来にわたって維持し、高齢化に伴い住民の足としてバス利用促進が期待できる
	事業期間	令和6年 月 日～令和7年3月31日
	総事業費	75,000円
	特記事項	対象世帯数 431世帯

補助事業等に要する経費の内訳

区分	内容	単位	数量	単価	金額	適用
	のぼり旗・ポール 利用促進イベント・広報活動	枚・本式	各 10 ケ 1	1,600円 23,000円	16,000円 15,000円	のぼり旗・ポール等 イベント・広報活動
	最新版時刻表	枚	300		5,000円	用紙・印刷
	啓発チラシ印刷費	枚	300			
	待合所環境整備	式	1		16,000円	環境改善整備

備考 この様式は、必要に応じ適宜修正し、又は別に明細書を添えて説明することができる。

様式第3号（第8条関係）

収 支 予 算 書

1 収入 (単位 円)

項 目	予 算 額	摘 要 (積 算 根 拠 等)
山の神団地路線バス利用促進活動助成金	75,000	
合 計	75,000	

2 支出 (単位 円)

項 目	予 算 額	摘 要 (積 算 根 拠 等)
のぼり旗・ポール購入費	16,000	のぼり旗・ポール購入
利用促進イベント・広報活動	15,000	バスに乗ろう運動・イベント・活動
時刻表作成	23,000	最新版時刻表 300 枚
啓発チラシ印刷費	5,000	啓発チラシ 300 部
停留所の環境改善	16,000	環境改善整備
合 計	75,000	

備考 (1) この収支予算書は、助成事業に係る予算に限り作成すること。

令和6年6月11日

日立市公共交通会議会長 山田 稔 殿

申請者 住所又は所在地

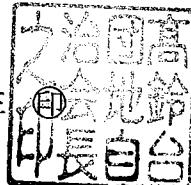
日立市高鈴町5-4-4 (佐藤 方)

団体等の名称

高鈴台団地 公共交通委員会

氏名又は代表者氏名

高鈴台団地自治会 会長 佐藤 晴正



令和6年度日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付申請書

令和6年度において、下記のとおり助成していただきたく、日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金交付要項第8条の規定により申請します。

記

1 助成事業の名称 日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成事業

2 助成金の名称 日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成金

3 助成金の額 金 75,000 円

4 添付書類

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書

様式第2号（第8条関係）

事業計画書

助成事業計画	事業名称	日立市公共交通会議地域公共交通利用促進活動助成事業
	実施場所	日立市高鈴町5丁目
	事業目的	<p>高鈴台団地路線バスはバス利用者、特に高齢者にとって継続と維持が大変重要になっている。高鈴台団地自治会（令和6年4月、世帯数305）は令和6年度の自治会定期総会において、前年度と同様に団地高齢化、少子化対応の事業の一つとして団地の公共交通手段確保のため「バスに乗ろう」の活動を継続することが決まった。</p> <p>当団地内を巡回するバスは、団地自治会、茨城交通（パートナーシップ協定スタート当初は日立電鉄交通サービス）、日立市公共交通会議の三者間のパートナーシップ協定により、2011年11月21日より2012年3月30日まで実証運行、2012年4月から本格運行が実施され、現在まで継続されている。さらに昨年から、この運行が土日祝日にも拡大された。ここ数年、団地内停留所の年度ごとの乗降人数は、退職者の増加により減少しているものの、市役所交通広場～ヒタチエ前を経由する昼間の団地内巡回バスの便は乗降者数を維持している。パートナーシップ協定による乗車促進策の効果が表れていると思われる。</p> <p>毎年、市から公共交通利用促進活動助成金をいただき、利用促進活動を行っている。具体的には主に次の活動をしている。①当団地は13班に分かれている。班幹事会や、班順に行われている班懇談会において、バスの乗車状況や公共交通の大切さの話題を提供。②イベントとしてバス乗り方教室を毎年開催。③バス運行に関する情報提供。④乗車状況を広報誌「公共交通委員会だより」で報告。⑤「公共交通委員会だより」による乗車促進の啓蒙の他、バス～列車ダイヤ連動の時刻表の発行。⑥パートナーシップ協定や活動方針について三者会議、団地内の連絡会議等を行っている。特に、日立市が本年3月に発表した「日立市地域公共交通計画」の議論は重要である。</p> <p>団地路線バスの継続と利用促進（新しい公共交通の実証事業の宣伝含む）は極めて大切である考え、乗車促進事業を今後も継続する。今年度の目標乗車率は、昨年度と同様2011年度比110%に設定した。</p> <p>本事業の目的は、団地住民の移動手段確保のため、バス利用促進活動を継続し、公共交通の重要さを団地住民に認識してもらい、乗車率の向上、バスの利用促進に取組むことにある。さらに、地域の方々の外出の機会を確保し、住民の心身の健康維持にも資することを目標にする。</p>

事業内容	公共交通利用促進のためのキャンペーンの企画と実施 (1) バス利用状況等の記事の「公共交通委員会だより」の発行 (2) JR日立駅列車時刻と団地バス便時刻の連動型時刻表の発行 (3) 子どもたちの手による乗車促進作文/ポスターの作成と広報 (4) 乗車ポイントを含むバス停の環境整備 (バス停花壇整備等) (5) のぼり旗作成、幹事会等におけるバス乗車促進活動 (6) 土日も含む昼行便のルート変更の効果検証の継続
期待される効果	団地の多くの方にのぼり旗や幹事会/班懇談会による広報、「公共交通委員会だより」発行による公共交通 (バス) 関連情報の周知、さらに、子どもたちにもバスに関心をもってもらい、バスを身近に感じてもらうことにより、バス運行の維持確保の必要性の認識向上と、バスの利用促進ができると期待される。
事業期間	① 4月～3月：幹事会/班懇談会によるバス乗車促進や利用状況報告 ② 4月～3月：バス停 (乗車ポイントを含む) 整備、のぼり旗整備、バス停花壇整備 ③ 10月～1月：「みんなでバスに乗ろう」の乗車促進作文/ポスターを子どもたちに作成してもらい、それを広報 ④ 12月～3月：バス利用状況やバス関連記事の「公共交通委員会だより」およびJRダイヤ改正/バス時刻改正時の時刻表の作成と発行
総事業費	76,500 円
特記事項	

補助事業等に要する経費の内訳						
区分	内 容	単位	数量	単価	金 額	適 用
	チラシ作成費	部数	500	円	30,000	A4 版の公共交通だより 発行
		部数	500		7,000	A3 版のバス～JR 乗継時 刻表
	のぼり旗作成費	枚	4	3,500	14,000	
	チラシ原稿作成用 消耗品費	一式			10,500	インク、コピー用紙
	写真・ポスター用 消耗品費	一式			9,500	画彩、画用紙、インク
	バス停整備費	一式			5,500	バス停および乗車ポイ ントの時刻表示板、花 壇等の整備

備考 この様式は、必要に応じ適宜修正し、又は別に明細書を添えて説明することができる。

様式第3号（第8条関係）

収支予算書

1 収入

(単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
公共交通利用促進活動助成金	75,000	
高鈴台団地自治会費	1,500	
合計	76,500	

2 支出

(単位 円)

項目	予算額	摘要（積算根拠等）
チラシ作成費	37,000	
のぼり旗作成費	14,000	
チラシ原稿作成用消耗品費	10,500	
写真・ポスター用消耗品費	9,500	
バス停整備費	5,500	
合計	76,500	

備考 (1) この収支予算書は、助成事業に係る予算に限り作成すること。